

再生医療を用いた新しい治療 PFC-FD療法

当院では、変形性膝関節症やスポーツなどによる筋・腱・靭帯損傷の治療でPFC-FD療法を行なっています。従来の治療法では効果が少ないけれども、現段階では手術までは考えていない、あるいは手術が必要なほどは膝の変形が進行していないといった患者さんに対し、選択肢の一つとしてPFC-FD療法をご提案しています。

どんな治療法？

血液中の血小板は、血管が傷ついたとき、傷ついた場所に集まって止血をする働きがあります。その際、多量の成長因子を放出します。この成長因子には組織修復のプロセスを開始する働きがあります。『PFC-FD療法』は、血小板の放出する成長因子を活用して、炎症を抑えたり、治りにくい組織の修復を促す治療法です。

※Platelet-derived Factor Concentrate Freeze Dry（血小板由来因子濃縮物凍結乾燥）の略。



患者さん自身の血液から血小板由来の成長因子を抽出し、成長因子の濃度を高めて患部に注射します。

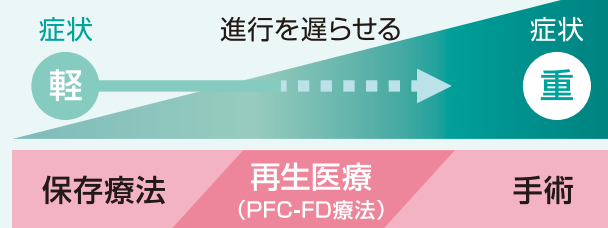
期待できる効果

- 患部の痛みや腫れを軽減する。
- 損傷した組織を修復する。
- 変形の進行を遅らせる。

このような方に

- 基礎疾患があるため手術のリスクが高い。
- 家庭や仕事の事情などで入院手術が難しい。
- 従来の治療法では効果が得られないが、手術には抵抗がある。

保存療法と手術の間をつなぐ 新たな治療の選択肢



メリット

- 患者さん自身の血液成分を用いるので、免疫反応が起きにくい。
- 手術が難しい高齢の患者さんでも受けることができる。
- 入院の必要はなく、外来日帰りで処置ができる。

デメリット

- 注射による一時的な副作用（痛み・赤み・腫れなど）が起こる可能性がある。
- 保険適用外の治療のため全額自己負担となる。

治療の進め方

治療は外来診療で行います。

当院

Step1

問診・診察

関節の痛みの程度、これまでに行ってきた治療などについてお伺いします。



Step2

採血

約50mlの自己血液を採取します。



約3週間後

Step3

注射

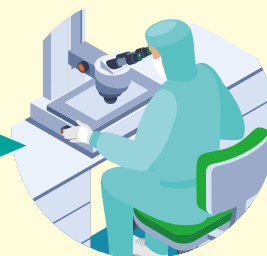
次回来院時に、関節にPFC-FDを注射します。



セルソース 再生医療センター

厚生労働省認可
特定細胞加工物製造許可施設

配送



- 感染症検査
- 血液加工
- 無菌試験

配送

治療を受けられない方

- 感染症検査 (HIV、HBV、梅毒、HTLV-1) で陽性の方
- 悪性腫瘍を患っている方



アメリカではスポーツ選手を中心に実施され、現在では一般の方への治療法としても広く行われています。

治療費用について 2022年3月8日現在

- 健康保険が適用されない自由診療となります。
治療費の目安は下記の通りです。

治療費目安 165,000円(税込)

※治療開始日(採血日)に全額をお支払いいただきます(クレジットカード可)。

※血液検査の結果、感染症などにより製剤が作製できない場合は、検査代等の諸費用を除いた差額分130,900円(税込)を返却いたします。



PFC-FD療法について、詳しくは担当医にお尋ねください。

【担当】膝・肩、スポーツ障害領域担当／中島 基成

【診察日】火曜日、木曜日



社会医療法人 財団新和会

八千代病院

〒446-8510 安城市住吉町2-2-7

Tel.0566-97-8111(代) Fax.0566-98-6191

ホームページ www.yachiyo-hosp.or.jp